

■第30回ふるさとまちなみデザインセミナー

『 人とまちの資源を活かす空間デザイン

-プレイスメイキングによる居心地のよい賑わいがあるまちづくり- 』

日 時：平成31年1月31日（木） 14：00～16：00

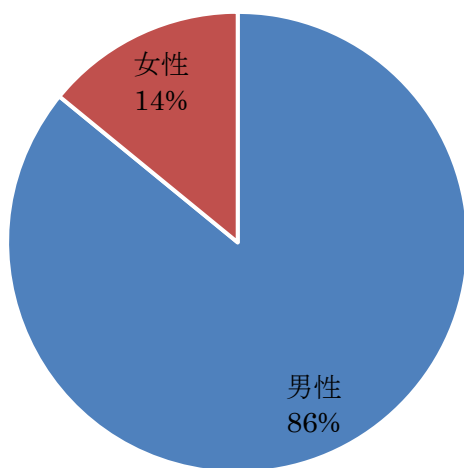
場 所：山梨県立図書館 多目的ホール

参加者：99名

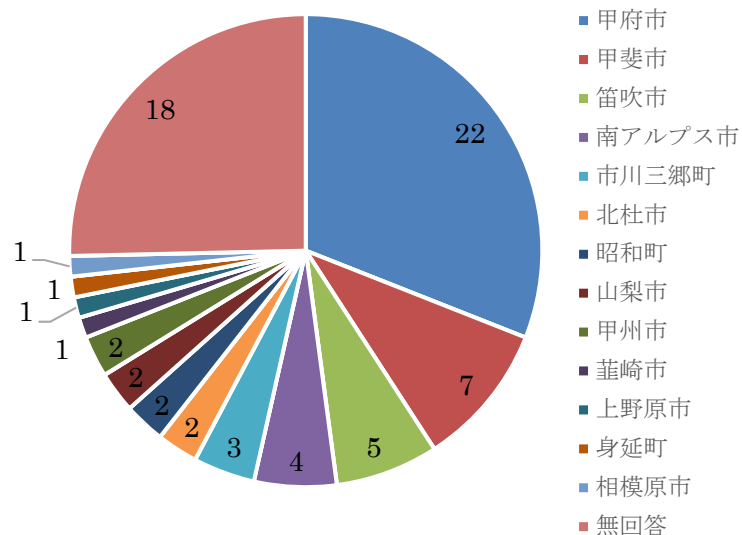
○参加者アンケート結果（抜粋）

アンケート回収数：71（参加者に対する回答率72%）

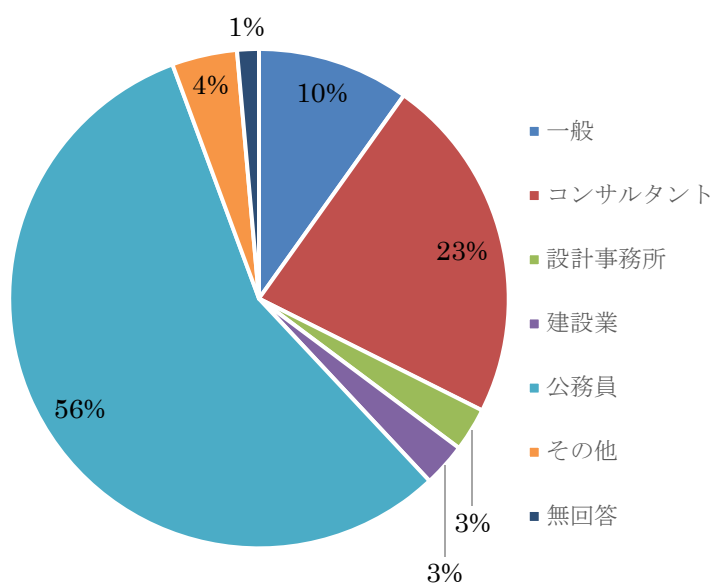
① 性別



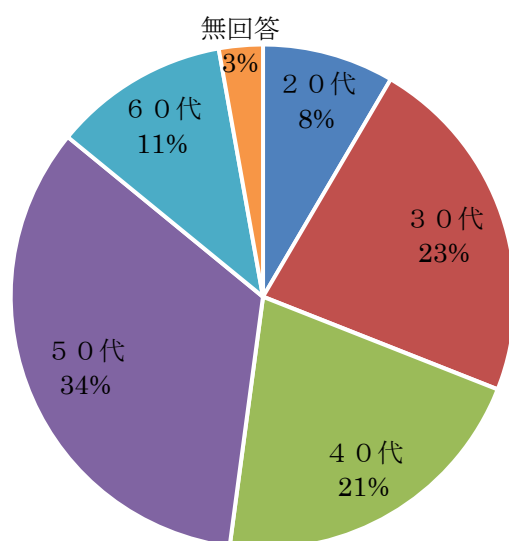
③ お住まい



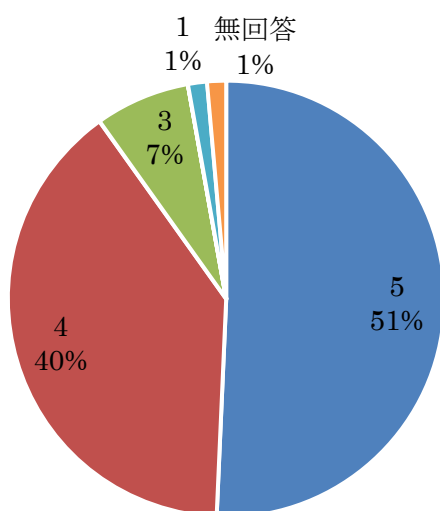
② 職業



④ 年齢



⑤セミナーに参加して良かったと思うか。(良かった 5-4-3-2-1 悪かった)

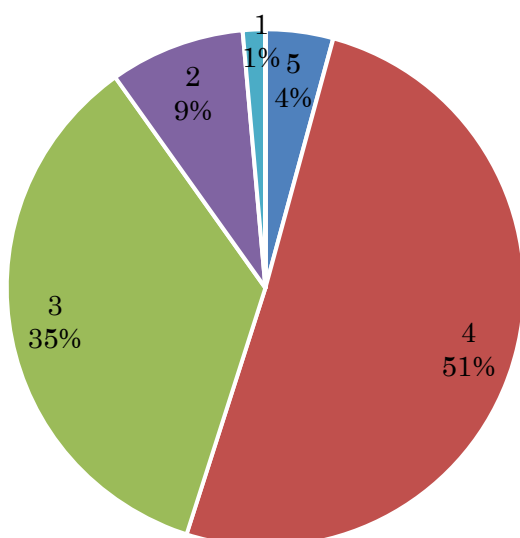


○主な理由

- ・プレイスメイキングにおける8つの場の概念はとても参考になった。取り組む活動の指導者が欲しい。
- ・非常にわかりやすく、空間デザインに関する知識を得ることができたから。
- ・自分の町でどのように活かすことができるか考えられた。
- ・今まで感覚的に思っていたことに学術的理由を知ることができた。また、知らない情報もたくさんいただいた。
- ・現在、各所に空間はあるが活かされていなくて、”場”（座り場等）を置くことで変化があるのではないかと参考になった。

⑥本セミナーはまちづくりの参考になると思うか。

(参考になる 5-4-3-2-1 ならない)



⑦まちづくり（都市計画）について思うこと

○主な回答

- ・人が集まる街づくり。
- ・市街地に緑地があるともっと良い。甲府市の中心市街地は特に緑が少ない。
- ・土地や建物を地域の資源ととらえる感覚が県民に必要。
- ・人が集まる場所に複合機能を備えた施設を建設して欲しい。
- ・各分野が多面的にまちづくりをしていくことが必要だと思うので、都市計画を理解していただく必要があると思う。
- ・身近にスポーツを行いながら憩える場を増やしていきたい。
- ・プレイスメイキングされた場所は少ないように感じる。賑わいのある場所が今後さらに増えれば良い。
- ・市街地の空き空間をどう活かすか。人口減少は避けられないが、どう集約を進めていくのが
いいか。
- ・今回提案された場が活性化に繋がるには、歩く人を増やすことだと思う。公共交通を含めた
まちづくりの計画が必要だと思う。
- ・魅力あるまちづくりをし、人々が住みやすい環境作りをやってほしい。
- ・人が集まる場所が少ない。座って長居できる場所が少ない。

⑧取り上げて欲しいテーマ

○主な意見

- ・中心市街地空洞化に対する取組（ソフト、ハード共）
- ・甲府の中心街に見られるドーナツ化の対策等について
- ・辺地（都市部外）で行ったまちづくり等
- ・夜間景観について
- ・エリアマネジメントの事例
- ・リニア駅周辺の参考事例
- ・また違う視点からの都市計画
- ・今回の様な講演内容に、実践を加えていただけるとより良いと思います。（参加者で〇〇場
をつくってみる等）
- ・公共施設の景観への配慮について